



学校だより

御前崎市立白羽小学校

かがやく浜の子

平成28年5月12日

『白羽小ならではの潮干狩り遠足』

強風が吹く日の合間を縫って穏やかな朝を迎えた5月6日(金)に本年度の潮干狩り遠足を実施しました。今年は『たこ』が大漁で、たくさんの浜の子が「たも」や素手で捕まえた『たこ』を誇らしげに見せてくれました。潮干狩りが終わってお弁当を食べ始める頃、ぽつぽつと雨が降り出しましたが、子どもたちは元気に歩いて帰宅の途につくことができました。

今年もたくさんの『遠足ボランティア』の皆様が、子どもたちの活動をサポートしてくださいました。行き帰りの道中で安全を確認してくださったり、子どもたちに声を掛けてくださったりする方や、現地での安全確保のために、海岸の岩場に立ってくださる方、トイレへの横断の支援をしてくださる方等々、たくさんのボランティアの皆さんに支えられて、楽しく充実した白羽小学校ならではの『潮干狩り遠足』になりました。心からお礼申し上げます。ありがとうございました。

本校は、ペア活動として潮干狩り遠足を設定しています。今年も、1・6年、2・4年、3・5年のペアで片道5.7キロほどの道のりを歩きました。手をつないだり、下級生の荷物を持ったりしながら、低学年の歩調に合わせて歩く高学年の姿には、頼もしさを感じます。潮干狩りも下着まで海につかって楽しんでる姿や、珍しい生き物を見つけて喜んで報告に来る姿を見るとまわりの大人も思わず笑顔になります。また、帰り道、雨にぬれても、重くなった荷物を一人で持って歩く姿には、たくましさを感じました。自分のことは自分でやれる子どもたちです。『自分で』『自分から』の合い言葉が子どもたちにも少しずつしみこんできました。

本年度本校で求めている『主体的な姿』が見られ始めています。どうぞ子どもたちの『自分で』『自分から』の思いを大切に、見守っていただきたいと思います。

『白羽小学校区あいさつの日(スクラムグットマナーの日)』



- 1 目的 学校と地域、家庭が一体となって「あいさつ運動」に取り組むことによって、白羽小学校区に住む子どもたちが「どこでも誰にでも一人でも」あいさつができるよう育てるとともに、子どもも大人も元気になるよう協働連携して郷土愛を醸成する。

2 具体的な取組

(1) 朝のあいさつ運動

ア 実施日時

・毎月10日(土日祝に重なったら翌平日)の登校時間帯(午前7時台)

イ 活動を依頼したい方々(無理なく、可能な範囲で御協力をいただく)

・町内会長 ・サポート隊員 ・白羽小学校シニアスクール生
・白羽小学校PTA会員(学校職員・保護者) ・協力いただける地域の方
※将来的には校区内にある事業所にも参加していただきたいと考えています。

ウ 活動場所

・各町内会で決まった場所(交通事故ゼロ運動とタイアップ)
・上記場所が遠い方は、自宅前や近所などでもいいです。

エ 活動内容

・登校中の子どもたちに、大人が「あいさつのシャワー」を浴びせる。
・まずは大人からあいさつをする。子どもより先にあいさつを投げかける。
・大人は子どもに目線を合わせ、「あいさつ+1」の声かけを心がける。
・学校内では、児童会を中心に「子どもあいさつ隊」を結成して上記日程で連動して実施。

(2) 帰りのあいさつ運動

ア 実施日時

・学校がある日の下校時間帯(主に低学年の下校時間帯)

イ 活動を依頼したい方々

・サポート隊員 ・御協力いただける方

ウ 活動場所

・サポート隊が通常の見守り活動をしている場所 ・自宅近くの通学路

エ 活動内容

・上記「朝のあいさつ運動」と同様の活動を下校中の子どもたちに対して実施



